



▲もしもキット・もしもカード



▲シールタイプ

「もしもカード」を活用してみませんか。



▲企画委員会の様子

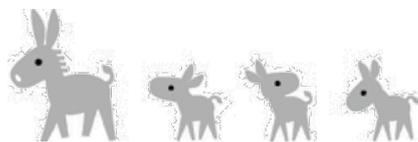
認知症サポーターの輪をひろげよう

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざし、全国で「認知症サポーター」が養成されています。市内でもこれまで約5,200人のサポーターが誕生しています。

「認知症サポーター」は認知症の人やその家族を温かく見守る、地域の応援者です。

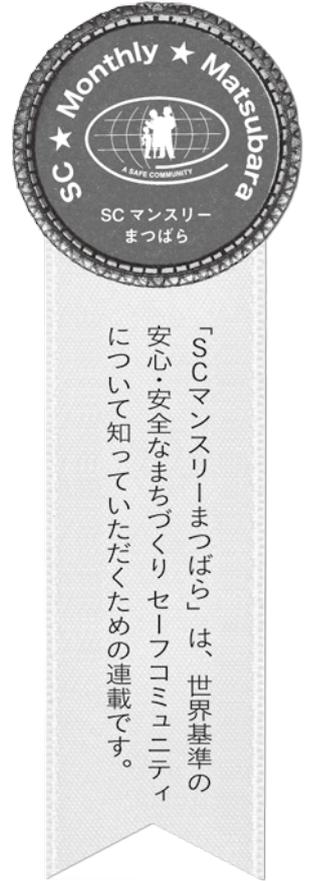
職場や、近所でお困りの人を見かけたら声をかけるなど、皆さんにもできることがあります。ぜひ受講してください。

認知症サポーター養成講座を実施します。
 ▶とき 9月12日(木) 午後1時30分～3時 ※次回は11月予定。
 ▶ところ 市役所8階会議室
 ▶一時保育 あり 有料(要申込) ▶申込み・問合せ 社会福祉協議会(☎333-0294)



高齢者の見まもり活動をサポート

▼問合せ 高齢介護課



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

「もしもキット」の活用を!

高齢者の安全対策委員会では、「もしもキット」「もしもカード」(携帯)

用の普及に努めています。
 「もしもキット」は、緊急連絡先やかかりつけ医などを記入した用紙を自宅の冷蔵庫に保管しておき、もしも場合に備えるものです。

これまでの切るタイプに加え、はさみを使うことが困難な人のために、新たにシールタイプができました。「もしもキット」シールは高齢介護課で配布していますので、ぜひご利用ください。

活用をひろげる取り組みをしています

7月4日、河合地区福祉委員会の企画委員会で「もしもキット」について説明を行いました。
 河合地区では高齢者見まもり活動の一環で活用を検討しており、実現に向けて話し合いを行いました。

皆さんの地域でも見まもり活動に「もしもキット」